41 01 08 04 01 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月20日（水）

事務事業	コミュニティバス運行事業	担当課	都市計画課	担当係	交通政策係	管理番号	4107
第２次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政分野別 計画施策名 大項目	200005 快適で利便性の高いまち（都市・生活基盤）	根拠法令個別計画等	深谷市コミュニティバス運行に関する協定書				
中項目	200002 交通アクセスの便利なまちづくり						
小項目	200002 公共交通の維持確保と交通安全の推進						

事業概要	市内の高齢者や運転免許証を持たない人の市内移動の確保および円滑化を図ることを主な目的に、平成９年７月から試行運行を開始した。また、平成１２年より深谷地区で本格運行を開始し、合併後、平成２２年に再編した。本事業は、バスの運行事業者に対して、事業費の補助を行っているものである。
目的 ※何のために	市内の公共交通による移動手段の確保。
対象 ※誰・何を対象に	主に市内の高齢者や運転免許証を持たない人などの交通弱者。
手段 ※どのように	コミュニティバス「くるリン」を市内全域で運行する。
成果 ※何を求めるか	移動手段のない市内の高齢者など交通弱者が、円滑に移動できる。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　■ その他（ 民間事業者 ）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	08	土木費	04	都市計画費	01	都市計画総務費	コミュニティバス運行事業	120,163,967
一般会計	08	土木費	04	都市計画費	01	都市計画総務費	コミュニティバス運行対策事業	0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ コミュニティバス運行業務	・
・ 深谷市地域公共交通会議運営	・
・	・
・	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画			コミュニティバス運行業務 深谷市地域公共交通会議運営	コミュニティバス運行業務 深谷市地域公共交通会議運営 地域公共交通網形成計画策定	コミュニティバス運行業務 深谷市地域公共交通会議運営 コミュニティバス運行対策業務	コミュニティバス運行業務 深谷市地域公共交通会議運営 デマンドバス再編計画策定	コミュニティバス運行業務 深谷市地域公共交通会議運営	
事業費	予算（現額）		121,102,000	124,076,000	138,803,000	127,360,000	127,418,000	
	決算額		101,722,188	108,790,720	120,163,967	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	0	
		一般財源	101,722,188	108,790,720	120,163,967	127,360,000	127,418,000	
人件費	従事職員数（人）		1.03	1.41	1.56	0.92	0.92	
	人件費相当試算※１		8,012,370	10,972,620	12,263,160	7,496,160	7,496,160	
			0	0	0	0	0	
（総事業費試算）			109,734,558	119,763,340	132,427,127	134,856,160	134,914,160	

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名	目標値／実績値	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
□	活動指標１	運行業者への事業費負担額	目標値	百万円	116.60	116.60	116.60	120.00	120.00	120.00	□
			実績値		97.73	97.73	97.73	120.00	120.00	120.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□	成果指標１	運行コース数	目標値	コース	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	□
			実績値		9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	
		年度別目標値の設定根拠		運行コース数は、あらかじめ定められているので目標値の設定になじまない。							
		運行コース数の実績									
■	成果指標２	１日の運行本数	目標値	便	47.00	47.00	47.00	80.00	80.00	80.00	□
			実績値		47.00	47.00	47.00	80.00	80.00	80.00	
		年度別目標値の設定根拠		１日の運行本数は、あらかじめ定められているので目標値の設定になじまない。							
		実際の運行本数									
□	成果指標３	年間運行日数（くるリン）	目標値	日	359.00	359.00	360.00	359.00	359.00	359.00	□
			実績値		359.00	359.00	360.00	359.00	359.00	359.00	
		年度別目標値の設定根拠		年末年始の６日間を除く毎日							
		実動運行日数									
■	成果指標４	年間利用者数	目標値	千人	98.33	138.00	138.00	148.70	150.30	151.90	□
			実績値		144.07	152.69	161.25	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		Ｈ３１までの値は総合振興計画に基づく。Ｒ２以降はコミバス再編計画の値が目標値							
		運行事業者からの報告による									
■	成果指標５	１日あたりの利用者数	目標値	人	273.00	401.00	425.00	414.20	418.60	423.10	□
			実績値		401.00	425.00	449.20	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		成果指標４÷成果指標３							
		年間利用者数／運行日数									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 年間を通じて欠便なく運行することができた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 年間利用者数をベースに判断すると、目標値を上回る成果を得ることができた。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	交通政策係長　新井　一富

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	交通弱者増加への対応、長大ルートの解消、路線重複の解消などを目標に令和２年４月より現運行を再編し運行する。運行再編初期は混乱を招く恐れもあることから、今年度は運行再編の周知に努力したい。
達成状況 及び その効果	地域の交通手段として定着していることは年間利用者数からも確認できる。今後も運行ＰＲなど利便性向上に努力し、利用率の更なる向上を図りたい。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	コミュニティバス運行事業	担当課	都市計画課	担当係	交通政策係	管理番号	4107

□ ① 現状のまま継続
■ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

- □ 委託化等の検討
- □ 成果向上のための改善
- ■ 効率化のための改善
- □ 事業規模の縮小
- □ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

平成２７年度から５箇年間継続した運行が令和元年度末をもって終了となる。令和２年度から新たに再編した運行に移行するし、今後も市民移動と生活を支える持続可能な公共交通として運行したい。新運行のＰＲにも努力し、市民利用の定着を図りたい。

評価者	都市計画課長　吉田　稔

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

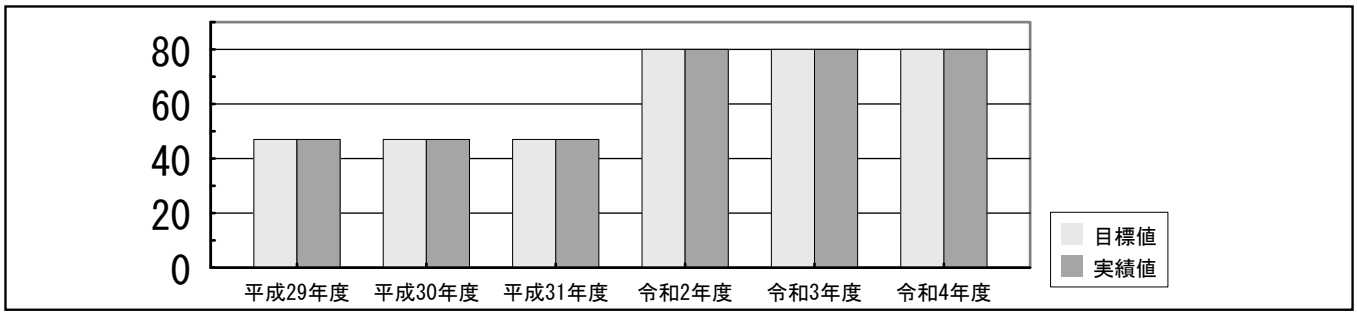
改善・改革案	令和２年４月から再編運行を開始し、長大ルートの解消、運賃、運行時間、割引サービスを再編した。再編運行の初期はこれまでの運行方法のイメージが強く、混乱を招く恐れもあるが、周知に努力したい。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

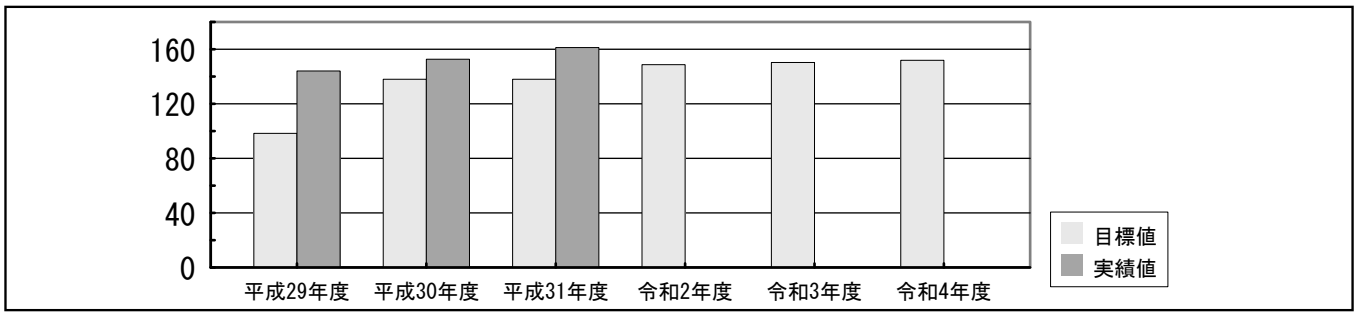
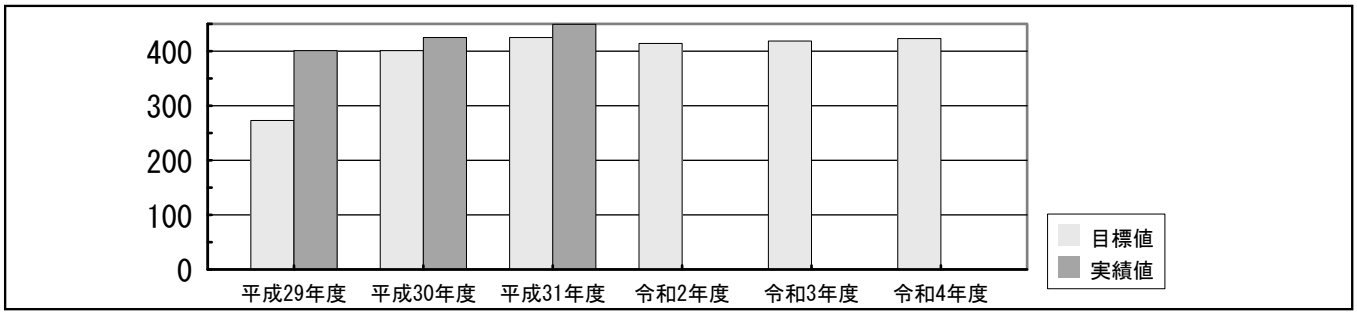
今後の課題	運行再編初期の混乱を回避するため、利活用ＰＲに努める。再編運行後の早期利用者定着を目標に努力したい。

９．評価指標グラフ

区分	成果指標２	指標名	１日の運行本数



区分	成果指標４	指標名	年間利用者数



区分	成果指標５	指標名	１日あたりの利用者数